

ぞう組 お茶会だより

H28・9・14（木）

先月は、夏の暑さや行事の疲れもあったぞう組の子ども達。今回は、また気を引き締めてお稽古に臨みました。

床の間は、植田先生が秋の風情に作りましたが、子ども達は秋を感じてくれるでしょうか？

【今月の床の間】

ススキ
ワレモコウ
シュウカイドウ
ハギ
フジバカマ



香合は「秋の虫」。

「秋の虫、何の虫でしょうね？」との植田先生の問いお掛けに「セミ！」と答えた子ども達。

まだ子ども達の季節は、夏と秋を行ったり来たりしているようでした。



掛け軸には「涼風」の文字。漢字はまだ読めなくても、風にそよぐススキとお月様の絵を見て、「あ、お月様だ！お月見だよ」と、子ども達も秋の夜の爽やかな風を感じていました。

【お稽古の様子】

お箸を使ってのお菓子のいただき方を丁寧に確認しました。

箸の取り方、持ち替えも忘れずにいました。

「上から取って、左手に乗せて、持ち直して...」

背筋も伸びて立派です。



後のお客さんへの気遣い
「お先に」「どうぞ」のご挨拶



「いただきます」の感謝の心



お菓子を取った箸は、懐紙の端で拭き取ります。

来月は総合案内所・和室での最後のお稽古。
和室での“敷居や縁を踏まない”などの立居振舞のお約束も、もう一度振り返ります。